

学習の森 中ノ沢溪谷森林公園 報告 ver 97

R6-gesi makkou karasu bisyaku haeru ver97 R06.06.30

「夏至 末候:半夏生(はんげしょうず)烏柄杓が生える」

七十二候 7月1日(月) 半夏生(はんげしょうず)は、夏至末候「烏柄杓が生える」という。烏柄杓(カラスビシャク)は半夏別名で、半夏生(カタシログサ)は白葉を付けることから付けられたという。半夏生期間は、2024年7月1日~7月5日を言い、此の頃の降雨を「半夏雨」(はんげあめ)と言う。大雨多く、「半夏水」(はんげみず)と言われる。

さて、カラスビシャク(烏柄杓、学名: *Pinellia ternata*)は、サトイモ科の植物で、花は小型の仏炎苞、紐のような付属体が上部に伸びるのが特徴という。中ノ沢溪谷森林公園に花を見つけれられるか、今度期待して伺うこととしよう。

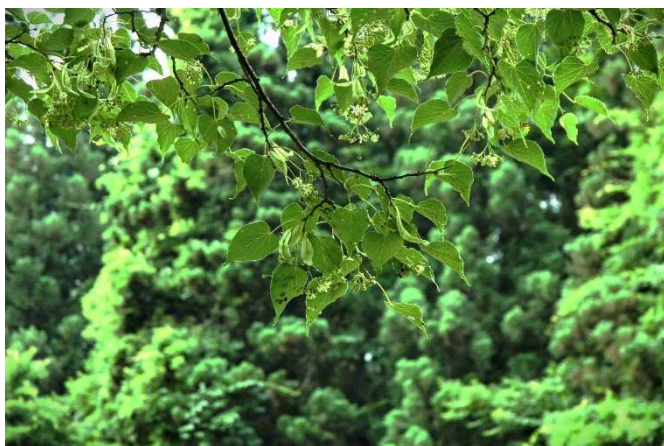
6月30日(日) 早朝5時半、この日カスターニエの明石浩見氏訪れ、一人泊っていた学生とコーヒーをご馳走になりました。先週のHPリニューアル経緯報告とアップしたキハダ特集の内容説明をしました。

本日の写真主要目的は、シナノキ開花写真、キハダ緑実、タカノツメの実確認です。

1 シナノキ開花 まずシナノキの学習から!

<p>学名 <i>Tilia japonica</i> 属名 <i>Tilia</i> はギリシャ語の「ptilon (翼)」から、花の柄に苞が翼のようについていることから 種小名 <i>japonica</i> は「日本の」という意味</p>	<p>シナノキ 科の木 アオイ科シナノキ属 (落葉高木) 樹皮: 帯灰褐色縦裂 内皮韌皮繊維強 科布作 耐水性強酒・醤油濾布 船ロープ使用 葉: 互生 葉身心円形 先鋭尖頭 基部通常心形 表面濃緑色無毛 裏面帯白色 脈腋褐色毛 縁鋸齒 花: 両性花 6~7月葉腋散房状花序下向出 淡黄色花咲 花香良 良質蜜源 花序柄 葉状苞 1付 ※ 苞シナノキ属特徴 果実: 球形堅果約5mm 灰褐色短毛密生 熟果序付 苞と一緒に落下 苞プロペラ働 母木遠散布</p>
--	---

シナノキ 開花&実





m DSC_0265 シナノキ 開花&実
R06.06.30AM0823 D70.jpg

シナノキ 開花&実





m DSC_0262 シナノキ 開花&実
R06.06.30AM0821 D70.jpg



2 クマノミズキ実 & ムラサキシキブ花 於：カスターニエにて

<p>クマノミズキ 実</p> 	<p>ムラサキシキブ 開花</p> 
<p>m DSC_0239 クマノミズキ R06.06.30AM0748 D70.jpg</p>	<p>m DSC_0247 ムラサキシキブ 開花 R06.06.30AM0752 D70.jpg</p>

3 キハダ & ヒトツバカエデ

<p>キハダ 緑実 大きくなって</p> 	<p>ヒトツバカエデ 実 大きくなって</p> 
<p>m DSC_0266 キハダ 緑実 R06.06.30AM0829 D70.jpg</p>	<p>m DSC_0284 ヒトツバカエデ 実 R06.06.30AM0855 D70.jpg</p>

4 タカノツメ土用芽 (※修正) & 実

<p>タカノツメ</p> 	<p>タカノツメ 緑実 大きく生って</p> 
<p>m DSC_0274 タカノツメ 土用芽&緑実 R06.06.30AM0843 D70.jpg</p>	<p>m DSC_7836 タカノツメ 実 R06.06.30AM0844 D5300.jpg</p>

※ 樹木 開花と実の観察 観察すればするほど奥深く魅力が増します。

R06.07.04 記録 up